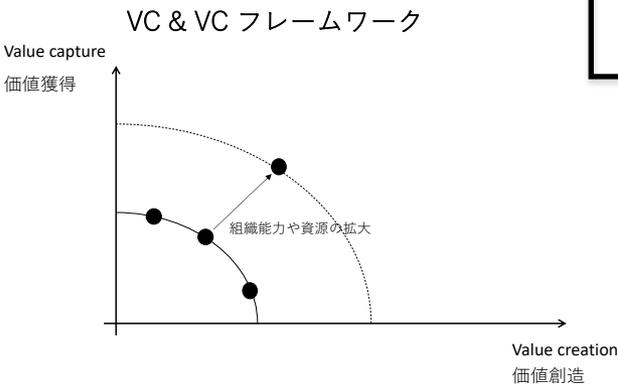
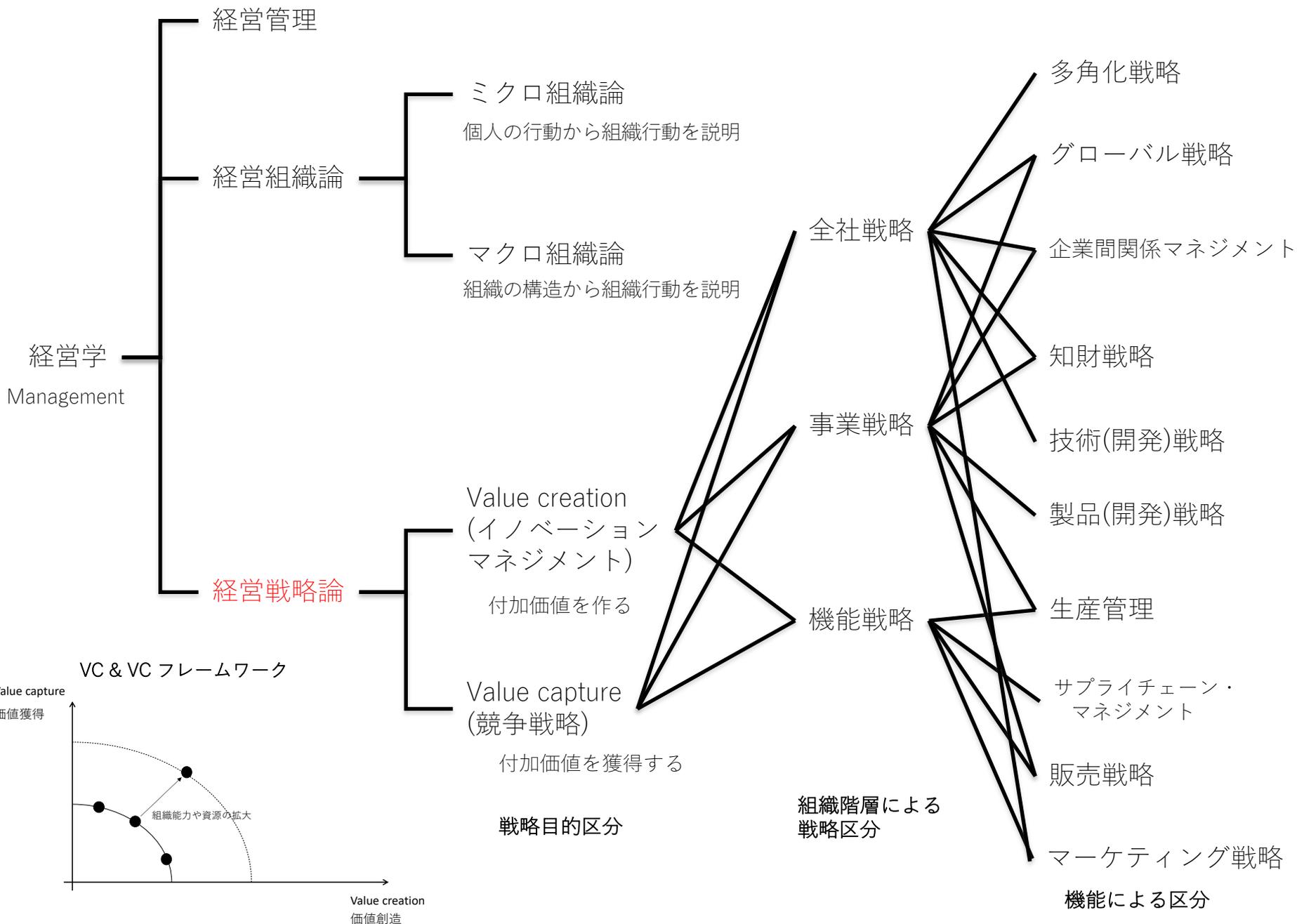


経営戦略論からみた知財投資とビジネス

知財を活用したビジネスの評価、指標のあり方

筑波大学ビジネスサイエンス系
立本博文

経営学の中の経営戦略論の位置づけ

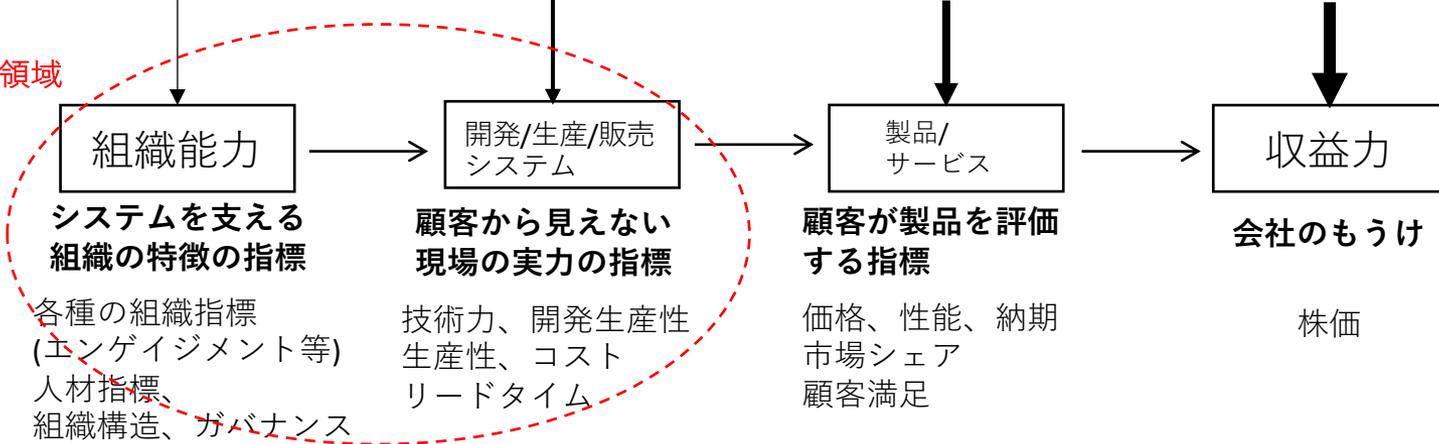


要因と成果の関係

(川下になるほど、環境要因の影響が大きくなる。指標にノイズがまじりやすい)



知的資産が
多く含まれる領域



指標

変わりにくい

見えにくい

変わりやすい

見えやすい

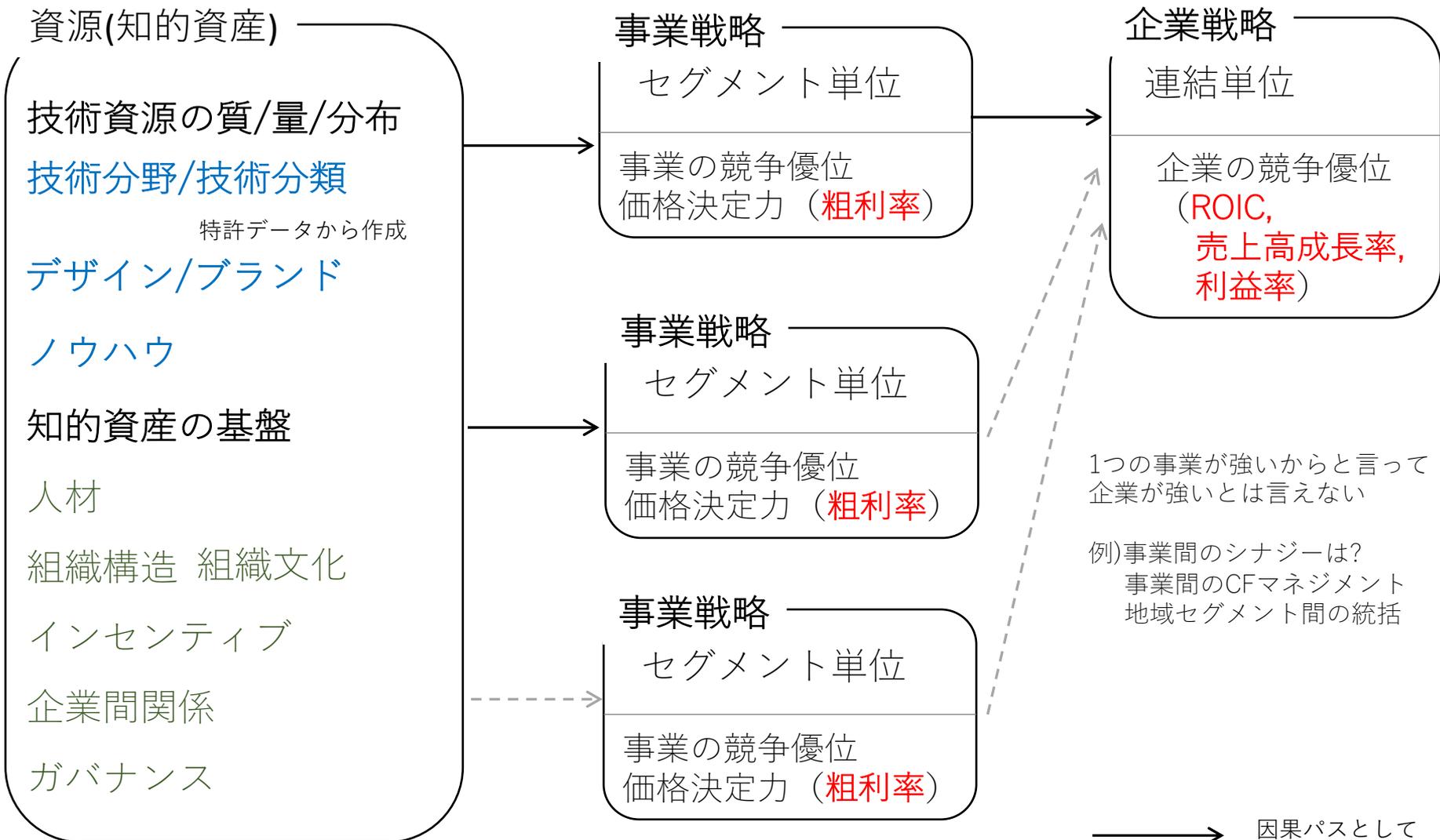
分析

(分析は逆算的)

予測

(予測は時間軸順)

ビジネスのストーリーを語る = 資源と戦略結果の因果パスの見える化



資源が多いからと言って
直ちに事業が強いとは言えない

例)特許数多い=技術資源が多い or
特許を野ざらしにしている

—————→ 因果パスとして
結びついている

-----→ 因果パスとして
結びついていない

ビジネスのストーリーを語る = 定性 + 定量を合わせて説明する必要性

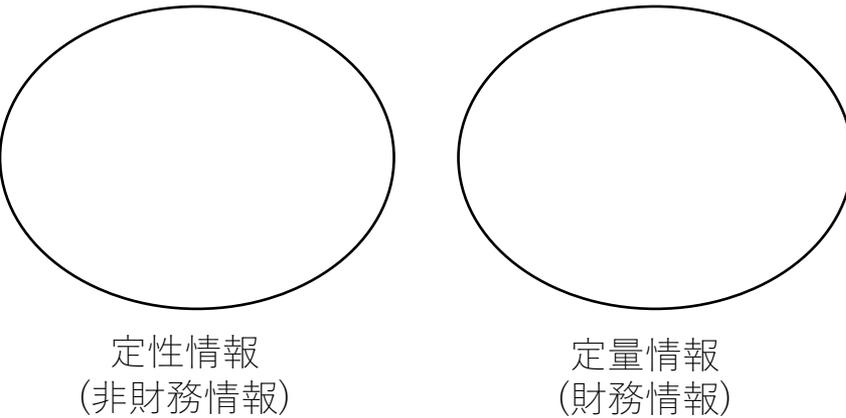
1. どのような要素が企業の競争力に関係しているのか（要素列挙）
 2. 要素間の関係は？（因果パスは？/何が原因で、何が結果?）
 3. 時間的感覚は？（原因から結果までどのぐらいの時間がかかるの?）
- ビジネスストーリーの説明は、定量的に明確に言えるものばかりではない
 - 定性的な説明が必要
（因果パス理解のためには定性的説明は有用なのではなく、必須である）
 - 定性 + 定量をあわせて説明（統合報告書）
 - 特に、見えにくい要素である知的資産について、
ビジネスストーリーの文脈で説明してくれると大変嬉しい
 - あまり細かい話は必要ない

いままでの理解を踏まえて

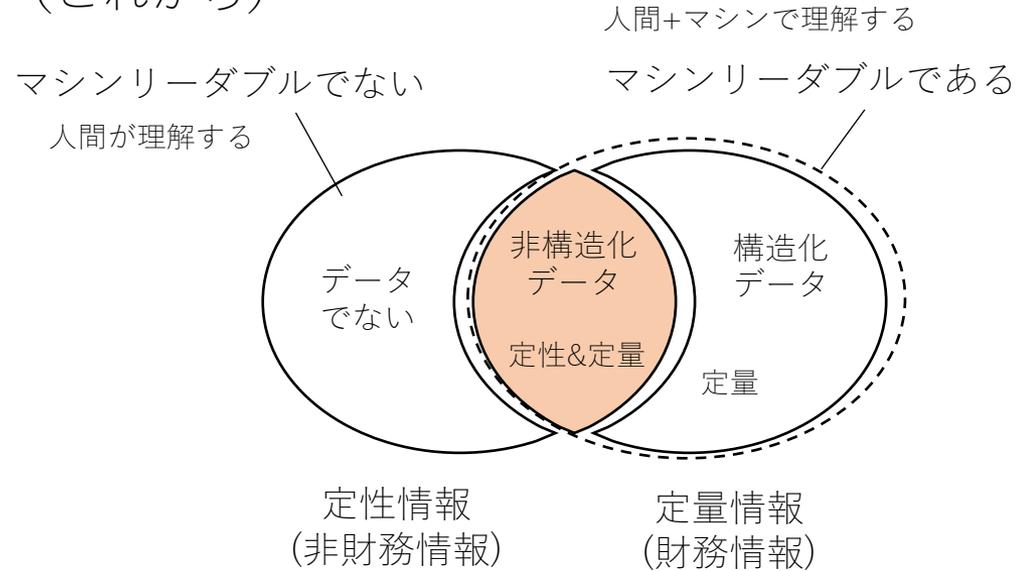
マシンリーダブル性/レポジトリ整備の担保

ビジネスストーリーには、**必然的に多くの定性情報**が含まれる
これらは、**非構造化データ（定性かつ定量）**である。多くは自然言語処理の範疇

(今まで)



(これから)



例) マシンリーダブルならできること

- ・ GPIFの『優れた統合報告書』をベースに、ある企業の統合報告書が『優れた統合報告書』である確率を求める
- ・ 統合報告書のレポジトリをもとに、ある企業の統合報告書が、こういった企業群の統合報告書と類似性を持つのかを知る
- ・ レポジトリデータを教師としたときに、さまざまな予測手法や類似比較手法の優劣を知ることができる

定性情報なのに**比較可能性**がある状態にする

→**マシンリーダブル**である & **レポジトリ**がオープンに整備されている

注)レポジトリ性：昨今の機械学習の興隆は皆が共通して使えるデータセット(例:手書き画像であるMNISTなど)が整備されたおかげ

特許に指標が寄りすぎているのではという懸念

①業界ごとに重要な指標が異なる

- ・ 製薬産業 … 非常に特許重要
- ・ 通信産業 … 特許（標準必須特許）が重要
- ・ 自動車 … 特許も重要だが、SCMが重要
- ・ ソフトウェア … 特許と言うよりノウハウ？
- ・ 小売業 … 特許はほとんど重要でない

②特許以外の知財権は？

デザインマネジメントでは意匠権やブランドが重要

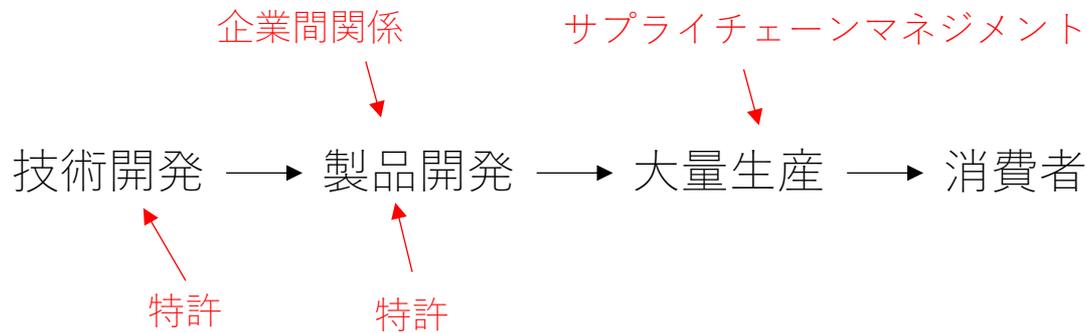
権利化されていない無形資産は？

- ノウハウ
- 人的資産
- ブランド/販売チャネル
- 企業間関係

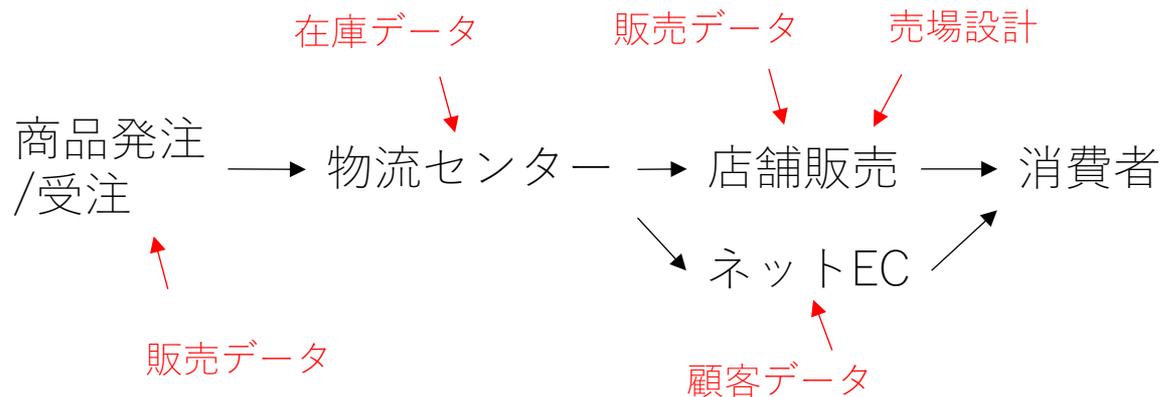
ビジネスストーリーで登場する知的資産の役割が業界毎に大きく異なる

業界ごとに参考になるパターンを提示したほうが良いのでは？
(慎重な議論必要：パターンの丸写し企業の危険性も・・・)

(メーカー)



(小売業)



赤字:知的資産

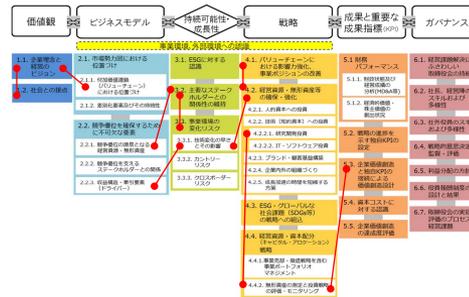
モザイク情報のイメージは発信側企業からみてもわかりやすい

取締役会（経営会議）の動きを考えると、モザイク情報イメージはとても自然

- いつもは（それほど）意識していない
- どうやったら事業目的を達成できるか、を考えている

- 一貫性をもった意思決定を続けると自然とブロックごとにつながりができる

- 業界特性としてそもそも存在しないブロック
- 秘匿のため非公開ブロック



価値共創ガイダンスの
ブロック

ブロック間につながりができる

開示できるブロックと
非開示のブロック

* 赤連結線は三瓶委員の発表をもとにした

透けて見えるイメージは、
それでも、一貫した像になる

そうは言っても特許はとても良いデータセット

特許データセットが、知的資産の中で最もよく整備されたデータセット

昨今ではPTOのデータセット整備が一層すすんでいる

→データ資源的な方針 (全データダウンロード)

(=開示データと知的資産のリンク可能)

USPTOのPatentsViewの例

全データを
無料ダウンロード

cc commons

日本はCC-BYでは無い(=商用利用できない) のでは? (類似データはNISTEPにあるが...)

名寄せ済み権利者データ

About Bulk Download Database Tables

PatentsView offers publicly accessible patent research data sets with detailed documentation. PatentsView database tables can be bulk downloaded as individual files in a tab-delimited format for programmers and researchers who prefer to work with the data in their native environments.

Filter by table name..

Table Name	Description	# of Rows	Origin	Data Last Updated
pregrant applications (PGPubs)	Information on the published applications (PGPubs)		raw & disamb	
application	Information on the applications for granted patent	7,811,937	raw	October 8, 2021
assignee	<u>Disambiguated assignee data</u> for granted patents and pre-granted applications	530,932	disamb	October 8, 2021
botanic	Botanic information for plant patents	17,756	raw	October 8, 2021
brf_sum_text	Brief summary text		raw	
claim	Full text of patent claims, including dependency and sequence		raw	
cpc_current	Current CPC classification data for all patents (applied retrospectively to all patents)	44,759,564	raw (from separate classification files)	October 8, 2021

全データをオープンにする意義

- データサイエンス的手法 (先述の自然言語処理) に適する
- 技術資源の意味で、企業地図を作成できる
- 高いレポジトリ性
- 様々な用途に、データを組みあわせて使える (例) 産業政策の基盤データ
patent litigation watchdog

大変だけれども、同種の取り組みを、日本PTOも進めたほうが...

ご清聴ありがとうございました